

# 3・11福島現地闘争へ!

2017年2月28日  
No.447

Tel 03-3651-4861  
mail\_cn001@zengakuren.jp  
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

## 「公務執行妨害」でっち上げ弾圧を粉碎したぞ! 東北大・青野君の出獄アピール

1月29日に「公務執行妨害」で不当逮捕され、勾留20日間を経て2月17日に釈放されました! 内での完黙と外の救援活動によってもぎ取った勝利です。今回の弾圧について3点述べます。

一つに共謀罪(テロ等組織犯罪準備罪)を何としても成立させたいという、強烈な国家権力の意志です。安倍は過去3回も廃案となっている共謀罪の成立を、今国会にて全力で狙っています。この情勢の中で、今回の弾圧が起きた事は偶然ではありません。共謀罪の本質は決して「テロを未然に防ぐ」ものではなく、警察権力の拡大によって全人民を国家の監視下に置き、反戦運動、反原発運動、労働運動を叩き潰すことを目的としたものです。延いては安倍が戦争を行う国家体制を作り上げる事に、本腰を入れたという事を意味します。そのために国家権力と闘う勢力に対して、「過激派」キャンペーンの大宣伝を行う事が目的とされた弾圧でした。反原発運動に対する1月18日の埼玉弾圧(全員不起訴奪還!)も然りです。

二つに全学連の、特に京大学生運動=反戦ストライキの切り開いた地平に対する反動の一環です。昨年、京大反戦ストライキへの「威力業務妨害」弾圧が粉碎され、4学生への「無期停学処分」も京大生の反撃にて破綻しました。この事に恐怖した国家権力と京都地裁が結託し、何としても一矢報いたいという意志で、私への「公務執行妨害」のでっち上げ弾圧が行われました。しかし、新たな京大生の決起と広範な京都府民

の怒りが京都府警・京都地裁を取り囲み、敵の目論見は完全に逆目に出ました。

三つに京都地裁が「被害者」として登場した事です。裁判所が今まで装ってきたペテン的な「中立性」を脱ぎ捨て、なりふり構わない国家権力への追従=戦争翼賛体制の一翼として登場した事は決定的な転換です。昨年3月の勾留理由開示公判では、裁判長・上垣猛が前代未聞の「全員退廷」を強行し、建前としてあった三権分立すら踏みにじり、

予め待機させておいた機動隊を法廷の中に連れ込むという暴挙にでました。これに抗議した事が「公務執行妨害」だという事です。しかし、この弾圧を粉碎する過程を通して、不正義極まりない裁判所の真の姿を満天下に明らかにしました。

最後に今回の弾圧に対して、救援活動を担ってくれた皆さんと、怒りの声をあげてくれた皆さんに心より感謝の言葉を申し上げます。特に2月9日の勾留理由開示公判では、僕のために全国津々浦々から京都に集まってくれ、不当な勾留を認めた京都地裁に対し弾劾を叩き付けてくれた事は本当に勇気がわきました。仲間との団結だけが、国家権力と立ち向かう唯一にして最大の武器です。本当にありがとうございました!



勝利を喜び合う青野君とふくしま共同診療所・杉井吉彦医師

### 奪われてたまるか! 避難いのち 子どもの未来

# 3.11反原発福島行動'17

〈日時〉 3月11日(土) 13時~ ※12時開場 ※15時デモ出発

〈場所〉 郡山市 開成山・野外音楽堂

〈呼びかけ〉 3・11反原発福島行動実行委員会

〈メール〉 3.11fukushimaaction@gmail.com



# 福島現地からの3・11結集アピール

青野くん奪還と「白タク」弾圧粉碎で、福島現地も3・11への結集運動は加速しています！ 3・11反原発福島行動'17～3・12被曝・医療シンポジウムへの大結集はもちろんのこと、福島現地行動隊への主体的決起を訴えます！

## ●帰還強制反対の闘いに支援が

3・11に向けた郡山駅前街宣と労組まわりは、連日大反響です。先日は、大熊町から避難している方から「自分のことを言ってくれてうれしかった」と署名・カンパがありました。県内の労働組合から「被曝と帰還の強制反対署名」が次々と送られてきています。みなが表明しにくいけれども心の底では持っている福島圧殺への怒りを解き放っていく、それが3・11反原発福島行動です。

福島第一原発2号機内のロボット調査の発表はすさまじいものでした。核燃料デブリとみられる物体が散らばり、毎時650シーベルトを観測。安倍政権はそれでも「原発事故は終息した」「アンダーコントロール」と言うために、帰還強制を加速しています。「自主避難者」への住宅支援はこの3月で打ち切れ、飯舘村や浪江町、富岡町などの避難指示が解除されようとしています。「帰還して被曝するか、移住で経済的に苦しむか」の選択を迫るものです。すでに避難指示が解除された楢葉町は、帰還した住民は1割程度です。放射線量が高いことから、子どもを持つ親や若者の多くが戻らない決断をしています。そこで今、「今春からの小中学校の再開が起爆剤」と、子どもたちが帰還強制のテコにされようとしています。楢葉町の小中学校は、4月から給食費と電車賃を支援してまで学校再開します。高線量地域での学校再開は、子どもたちと福島県の教育労働者に被曝を強制する暴挙です。

## ●国鉄闘争とともに

安倍とともに福島圧殺に走っているのがJR東日本です。被災路線を「BRT」や「上下分離式」（すなわち赤字は地元自治体に押し付ける）で再開させる一方、常磐線だけはいくら赤字でも再開させようと必死です。「復興」の要だからです。3月31日には、浪江町の避難指示解除に合わせて浪江駅に電車を乗り入れ、2020年東京オリンピックまでには、原発直近も含めてすべて再開させるとしています。住民や乗客、乗務員、整備などの労働者を被曝させて演出する「復興」とは一体何なのでしょう。

「JRは被曝を強制するな！」と訴える動労水戸の闘いがますます重要になってきています。被曝労働拒否の闘いは全国に広がり、2・26の高浜原発再稼働反対舞鶴闘争は自治体の労働組合が先頭に立ちました。被災地での動労総連合結成も進んでいます。動労福島は、3月3日のストライキを打ち抜いて3・11行動へと上り詰めます。安倍政権、JR資本との対決はすでに始まっています。

## ●日帝の核武装と対決する全学連運動

3・11反原発福島行動は、核先制攻撃を明言した2・10日米首脳会談と対決し、朝鮮侵略戦争を止める闘いです。

安倍政権は、日本独自の核武装のために、原発・核燃サイクルを維持し、大学の軍事研究も加速させています。ガス抜きの「もんじゅ」廃炉を決定する一方、「もんじゅ」に代わる実証炉を開発するとしています。

全学連は、「3・11」で大学が原発政策の最たる推進者であったことを見抜き、「全部ウソだった！」という広範な怒りと結びつきながら、自らのキャンパスで闘う学生自治会を再建させてきました。15年の京大反戦ストライキも、再建された学生自治会「同学会」が先頭に立って闘われました。これらは、学生の力で原発と大学の軍事研究と真っ向から対決する行動でした。3・11反原発福島行動は、私たち学生が勝ち取ってきたこれらの大前進を「革命の根拠地」＝福島でも実現するための闘いです。闘う学生は福島に集まろう！

## ●二セモノを乗り越え、闘う旗を打ち立てよう

ふくしま共同診療所と労働組合が軸となった「被曝と帰還の強制反対署名運動」が力を発揮しまくっています。街頭や職場から多くの反応が返ってきています。

この署名運動は、体制内勢力と対決して闘う労働組合・労働運動を復権させるものとしてもあります。日本共産党「野党共闘」は、はっきり言って全原発廃炉の闘いの敵対物です。福大・清水修二ら「原発のない福島を！県民大集会」実行委員会は、「福島県の自民党とも共闘するため」として福島県内の原発（福島第二原発）の廃炉しか求めません。避難家族への「いじめ」があり、最近では関西学院大教員による福島出身学生への差別も報道されました。体制内勢力は、福島分断を憂いながらも、これらの最たる原因である政府を鋭く批判できていません。「安全だから帰還しろ」と言い張る安倍政権と真っ向から立ち向かい、打倒し、労働者権力を打ち立てる以外に福島圧殺をぶち破ることはできません。

それは学生も同じです。「革命の根拠地」福島にこそ闘う学生自治会を建設しよう。そのために、被曝と帰還の強制反対署名を持って、キャンパスのほか街頭や職場にも学生が飛び込んでいこう。

## ●学生の力を見せつけよう！ 福島現地へ大結集を！！

街宣やPRカー流し、集会準備などなど、やることはたくさんあります。全国学友に街宣や労組からの反応など福島現地の息吹に触れてほしいですし、全学連のこのかんの闘いが福島の子・労働者にうけることは間違いありません。福島現地に闘う学生運動の旗を打ち立てまくる闘いを一緒にやろう！ 3・11反原発福島行動と福島現地行動隊への結集を訴えます。